



太田 芳郎 議員

## 平成22年度予算編成の状況は

### 質問

愛西市の平成22年度の予算編成作業が本格化し概算が固まりつつある。

国政における補正予算の凍結、見直し、執行停止、さらには事業仕分けなど少なからず影響がおよんでくると考えられる。そうした状況下で、本市の22年度予算編成に向けての基本方針は。

### 企画部長

集中改革プランの財政指標の目標達成や、持続可能な財政運営を念頭に18億、6千万円を各部に歳出予算枠配分を示した。国の動向が不透明な中、

### 質問

本市の継続事業の大きいもので、勝幡駅前整備事業、下水道事業、広域農道整備事業などについてはどうか。

### 企画部長

事業仕分けでは、勝幡駅前整備にかかわるまちづくり交付金は地方・民間へ移管、下水道事業は自治体の判断、農道整備は廃止という判定が出ている。いずれにしても国の動向をとらえた中でできる限り早く予算編成に反映させていきたい。

### 質問

経済建設部所管のハード事業の予算執行で、土地改良区域内、外での事業の進め方の場合は、建設課、農業土木課との連携によって市の予算が削減できると考えるがどうか。

### 経済建設部長

土地改良区域内は土地改良区が事業主体となり、区域外は愛西市で事業を行っている。また、土地改良区と建設課との事業推進についてはケースに応じて協力し、協議が必

要な時は協議を交わしつつ連携を図って進めていきたい。

### 質問

地域の総代からの要望で上がっている地域整備の進め方を見直して、比較的土木業社の仕事のない時期に発注して経費の削減を図ったらいかがか。

### 経済建設部長

よい提言をいただいたと思うが、湧水や、温度が高くなる時期、設計単価の関係などで、現状としては、現行の形で、もう少し進めて状況を見ていきたい。

